



1989 年に開学した本学は 30 周年を迎えました。死生学研究所は、本学の開学趣旨をいかして 2003 年に開設されて以来、総合学としての死生学、継続する多様な研究と公開講座を目指してまいりましたが、今年 16 周年を迎えます。振り返れば、足跡の数も方向性も増えてきています。また 2011 年の東日本大震災によって多くの新しい問題に直面することになりました。人間が生と死を繰り返す限り、死生学の課題には限りがなく、また絶えず新しい学びが要請されています。今後とも多くの方々が死生学の未来を作るためにご参加いただけましたら幸いに存じます。

2019 年 4 月

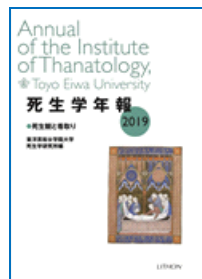
東洋英和女学院大学死生学研究所幹事 渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室
・六本木駅（日比谷線徒歩 10 分）
・麻布十番駅（大江戸線徒歩 5 分、南北線徒歩 7 分）
- 参加費 すべて無料
- 事前申込不要（当日先着順 100 名様）
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所
〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40
E-mail shiseigaku@toyoieiwa.ac.jp

日程（土曜日）30 分前から受付開始			発表者	所属	題目
4 月 20 日	14:40～ 16:10	第 1 回 連続講座	桜井愛子	本学国際社会学部 准教授	大震災からのサバイバーの子どもたちのための復興・防災教育とは？
	16:20～ 17:50	第 2 回 連続講座	鶴岡賀雄	東京大学名誉教授	「宗教」の未来—死生学とのかかわりのなかで—
6 月 8 日	14:40～ 16:10	第 3 回 連続講座	渡部麻美	本学人間科学部 准教授	ひきこもり状態にある人々の実態
	16:20～ 17:50	第 4 回 連続講座	佐々木啓	北海道大学大学院 文学院教授	いのち 「生命」と「看取り」の『聖書』
7 月 20 日	14:40～ 16:10	第 5 回 連続講座	平体由美	本学国際社会学部 教授	「健康」とはどのような状態のことか —アメリカ史に見る「健康」と「病」の変遷—
	16:20～ 17:50	第 6 回 連続講座	宮嶋俊一	北海道大学大学院 文学院准教授	死者と共にあるということ —北海道における独居高齢者調査を参考に—
10 月 12 日	14:40～ 17:50	シンポジウム 死の受容と 悲嘆のケア	玉置妙憂	一般社団法人介護デ ザインラボ代表理事	医療と宗教の協働 —両輪そろってこそその穏やかな看取り—
			高橋悦堂	円通山普門寺副住職	私の死生“感” —主に終末期緩和ケアと 東日本大震災の活動から—
			奥野滋子	順天堂大学医学部 緩和医療学研究室	お迎えされて人は逝く —終末期医療の現場から—
2020 年 1 月 11 日	14:40～ 16:10	第 7 回 連続講座	三上 慧	本学人間科学部講師	木彫家橋本平八の精神と表現
	16:20～ 17:50	第 8 回 連続講座	深澤英隆	一橋大学名誉教授	哲学的主題としての死後生の問題 —19 世紀ドイツ、そして現在—
2 月 15 日	14:40～ 16:10	第 9 回 連続講座	奥野滋子	順天堂大学医学部 緩和医療学研究室	死を考えることの意義—ACP（人生会議）とは何か—
	16:20～ 17:50	第 10 回 連続講座	渡辺和子	本学人間科学部教授	古代の死生学から未来へ —『ギルガメシュ叙事詩』の読解を通して—

（公財）国際宗教研究所共催
「生と死」研究会第 18 回例会
（司会・渡辺和子）

<2019 年 4 月 1 日作成>



東洋英和女学院大学死生学研究所編（リトン刊）

『死生学年報 2019 死生観と看取り』

定価 2,500 円＋税 一般書店でご注文・ご購入いただけます。



Toyo Eiwa University
since 1989